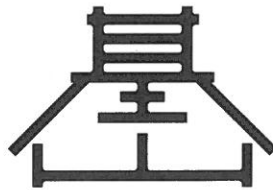


第6回  
通常総会提出議案

KIYAMA  
FUTURE  
CENTER  
L A B.



令和2年5月24日

基山フューチャーセンターラボ



## 令和元年度 事業報告

### 1) 総括的概要

令和元年度は、継続事業であるまちゼミの開催を2回実施した。

7月27日に、「荒井さん！本気で挑戦するってどういうこと?!」と題し、東明館理事長に就任されたばかりの荒井優さんと津屋崎ランチの山口覚さんをお招きし、出席者42名の参加者で予定人数を大きく上回り、奈良県、長崎県、大分県など町外、県外の参加者も目立った。講師お二人と参加者を巻き込んだ対話型講演会では、教育についてのみではなく、経営やカルチャー、ビジョンや哲学的要素が盛り込まれた時間となった。

また、10月3日には障害者福祉サービス事業所PICFA施設長の原田啓之さんに「破壊力200%！人と人の中にある障害を破壊する」～障害者施設が地域資産となりうるのか～と題し、講演を行った。参加者は35名で、人と人の障害を破壊した先には、優しい繋がりが生まれ、人や地域との繋がりも同時に生まれると感じた等の感想があった。

重点目標の1つ目である魅力ある空間づくりでは、チャレンジショップへの支援としての活動の中で、7月6日に和茶カフェ「Tea +」（ティープラス）が新たにオープンし、週金土曜日の営業では今までに見られなかった若いお客様の来店につながった。

重点目標の2つ目としての、自ら稼ぐ組織としての基盤強化では、1年間を通じて49回販売を行った「水よう日のパン屋さん」が昨年を上回る売上を更新した。東明館バイオ部との連携事業としての基山酵母の量産体制も確立でき、多くのお客様からの支持を集めた他、様々な交流が生まれる場としての成果に繋がった。更に佐賀県NPO指定ふるさと応援寄付では、約90万円の寄付を頂き財政上においても大きく貢献した。

重点目標の3つ目である多種多様な人材との交流では、先述の「水よう日のパン屋さん」において町内外からのお客様との交流をはじめ、5月17日に大阪狭山市市議会議員2名の視察、同じく大阪狭山市さやま未来プランナー5名の視察を受け入れた。さらに、3月13日には国立大学法人弘前大学大学院地域社会研究科 土井良浩准教授の視察を受けた。

観光・コワーキング・情報発信事業として、基山町の観光事業を観光協会から委託を受け、UNAラボラトリーズとの協働事業を行い、ワークショップ、コンテンツ作成などを実施した。また、懸案事項であったホームページリニューアルを行い、よりわかりやすい情報発信に努めた。

## 令和元年(平成31)度 収支決算書

自 平成31年4月1日 至 令和2年年3月31日

(収入の部)

項目	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	増 減	備考
前年度繰越金	991,709	991,709	0	
会 費	100,000	72,000	△28,000	
特別会費	420,000	624,400	204,400	MarikoK、Tea+
事業委託費	1,000	653,584	652,584	観光協会(ロゴ作成、講師謝金含)
寄附金・助成金	800,000	394,100	△405,900	ふるさと応援寄附金、基峰鶴販売寄付
売上金	200,000	276,000	76,000	パン売上
使用料・利用料	50,000	78,615	28,615	スペース賃貸15回分
イベント参加費	150,000	139,308	△10,692	まちゼミ懇親会ほか
雑収入	10,000	34,561	24,561	預金利息、講師謝金返金ほか
収入合計	2,722,709	3,264,277	541,568	

(支出の部)

項目	令和元年度 予算額	令和元年度 決算額	増 減	備考
地代家賃	600,000	600,000	0	50,000×12ヶ月分
水道光熱費	450,000	450,344	344	27,000×5ヶ月分、31,000×7ヶ月分、灯油代、ガス代
修繕費	50,000	0	△ 50,000	
企画費	100,000	256,990	156,990	KIYAMA BASICS ロゴ&講師謝金等
交通費	50,000	0	50,000	
物品費	200,000	221,223	21,223	ふるさと応援寄附金返礼品
備品購入費	20,000	31,626	11,626	ホワイトボード、外灯ほか
施設使用料	5,000	0	△ 5,000	
会議費	50,000	46,367	△ 3,923	総会ほか
渉外費	30,000	15,192	△ 14,808	御中元、御歳暮ほか
印刷費	10,000	0	△ 10,000	
通信費	130,000	69,436	△ 60,564	電話代、インターネット
消耗品費	10,000	3,521	△ 79,040	スクラップブック、電球代ほか
人件費	50,000	0	△ 50,000	
講師謝金	300,000	80,000	△ 220,000	まちゼミ謝金
広告費	30,000	30,000	0	ホームページ作成費
委託費	100,000	0	△ 100,000	
租税公課	5,000	4,730	△ 270	食品衛生管理者講習代ほか
雑 費	5,000	19,480	14,480	書籍代、お茶、お菓子代
予備費	527,709	0	△ 527,709	
次期繰越金		1,435,368	1,435,368	
支出合計	2,722,709	3,264,277	541,568	

(未収入金) ふるさと応援寄付 687,250 + 弘前大学 30,000 = 717,250円

# 監査意見書

令和元年度（平成31年度）の事業報告、会計報告並びに関係諸帳簿について監査したところ、その内容は事実に相違なく適正と認めます。

令和2年 4月 22日

監事

吉岡 慶太



監事

調 三鈴



## 令和2年度 事業計画（案）

### 1) 基本方針

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が危惧される中でのスタートであり、年度計画を立てにくい状況下であるが、昨年度同様の重点目標、主な事業を踏襲しつつ、新たなチャレンジに向けて動き出す大切な年度となる。

また、拠点の維持管理を含め、改めて魅力ある空間形成が求められる中、スペースの有効的な利活用や学生を始めとした若い世代の創意工夫を促進していく。

組織基盤強化としては、昨年度に引き続き、ふるさと応援寄附金による資金醸成をはじめ、観光事業やコワーキング事業にも視点を置きつつ九州全体を俯瞰的に捉えた仕組みづくりの一助とすることを基本方針とする。

### 2) 重点目標

1. 魅力ある空間づくりの形成
2. 自ら稼ぐ組織としての基盤強化
3. 多種多様な人財との交流

### 3) 主な事業

1. まちゼミ・シアターゼミの開催
2. 知（地）の拠点づくり
3. ラボキッチンによる基山自然酵母パンの販売
4. 組織基盤強化事業
5. 観光、コワーキング、情報発信事業

## 令和2年度 収支予算書(案)

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

### (収入の部)

項目	令和元年度 決算額	令和2年度 予算額	備考
前年度繰越金	991,709	1,435,368	
会費	72,000	75,000	3,000円×25名
特別会費	624,400	630,000	MarikoK×12、Tea+×6
事業委託費	653,584	1,000	
寄附金・助成金	394,100	400,000	ふるさと応援寄付
売上金	276,000	150,000	パン売上
使用料・利用料	78,615	50,000	
イベント参加費	139,308	60,000	まちゼミ懇親会ほか
雑収入	34,561	10,000	
収入合計	3,264,277	2,811,368	

### (支出の部)

項目	令和元年度 決算額	令和2年度 予算額	備考
地代家賃	600,000	600,000	50,000×12ヶ月分
水道光熱費	450,344	450,000	27,000×12ヶ月分、灯油代
修繕費	0	50,000	
企画費	256,990	50,000	観光事業ほか
交通費	0	50,000	
物品費	221,223	250,000	ふるさと応援寄附金返礼品
備品購入費	31,626	200,000	スピーカー購入費
施設使用料	0	5,000	
会議費	46,367	20,000	総会ほか
渉外費	15,192	20,000	御中元、御歳暮ほか
印刷費	0	10,000	総合パンフレット、チラシほか
通信費	69,436	58,000	インターネット
消耗品費	3,521	10,000	トイレトペーパーほか
人件費	0	50,000	スタッフ
講師謝金	80,000	200,000	まちゼミほか
広告費	30,000	10,000	チラシほか
委託費	0	10,000	託児ほか
租税公課	4,730	5,000	講習代、切手代ほか
雑費	19,480	5,000	
予備費	0	758,368	
次期繰越金	1,435,368		
支出合計	3,264,277	2,811,368	